

ホルムアルデヒド
放散等級

F☆☆☆☆



ニッペ

1液水性反応硬化形
セラミック変性シリコン系塗料

水性シリコンセラ UV®



高耐候性



透湿性



低汚染性



防藻・防かび

SILICONECERA UV FINISH COAT WB

「塗装の知識」「工事のヒント」「業界の市場動向」など、プロの仕事に役立つ塗装の情報紙。

ペイントかわら版読者募集! 無料

ケータイ 読者登録は、QRコードからカンタン入力でお申込みいただけます。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
<http://paintkavaraban.jp/form/>



NIPPON PAINT



環境にやさしい

下塗りから上塗りまで全て水性塗料での施工が可能です。

取り扱いが安全で、いやな臭いありません。

水性シリコンセラUV は環境にやさしい水性塗料です。

高耐久性

水性シリコンセラUV は、紫外線放射量の増加による塗膜の劣化を想定し開発されました。水性シリコンセラUV なら外壁の劣化を抑え、高い耐久性を発揮します。

低汚染性

お住まいの外観を清潔に、長時間美しく保つことができます。水性シリコンセラUV は、外壁の汚染に対して優れた効果を発揮します。さらに、防藻・防かび機能もありますので、いやな藻やかび菌の発生を抑制することができます。

UV

日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁

幅広いつや調整機能が可能です

水性シリコンセラUV はさまざまな光沢感の外観に仕上げることができます。

お好みに応じて、つや有り〜つや消しまで幅広いつやが選べます。

シーラーは抜群の密着性です

ニッペ水性シリコン浸透シーラーは、水性でありながらすぐれた浸透力があり、シリコン・エポキシ反応硬化により密着性にすぐれたシーラーです。

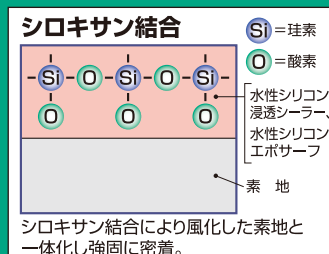
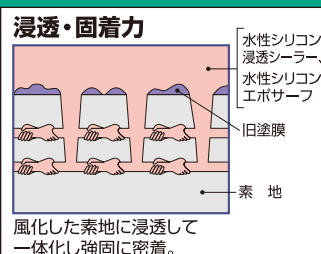
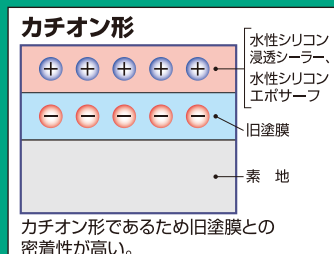
ニッペパーフェクトサーフは、シーラーとフィラーの機能を兼ね備え、密着にすぐれ、省工程での施工が可能です。キメ細かい(超平滑)ので、上塗りの吸い込みが少なく、光沢のある仕上がりが可能です。

サーフェーサーは耐シーリング汚染性と目止め効果が抜群です

ニッペ水性シリコンエポサーフはシリコン・エポキシ反応によるマイクロガード機構により、水性サーフェーサーでありながらシーリング汚染を防止することができます。(シーリング材の種類・銘柄によっては多少差異があります。)また、面粗度の荒い下地に対して厚膜に付着し、素晴らしい仕上がりが可能です。



水性シリコン 7つの 技術と効果



商品構成				
	塗料名	容量	色相	つや
下塗り	ニッペ水性シリコン浸透シーラー	15kg	透明ホワイト	—
	ニッペパーフェクトサーフ	15kg	白色	—
	ニッペ水性シリコンエポサーフ	15kg	ホワイト	—
上塗り	ニッペ水性シリコンセラUV	15kg	各色	つや有り
				7分つや有り
				5分つや有り
				3分つや有り つや消し

- 適用下地**
- 窯業サイディングボード（セメント無機繊維板、硬質木片セメント板、炭酸マグネシウム板、スラグ石こう板など）
 - 在来工法（モルタル、コンクリート、PC、ALCなど）にも適用できます。
 - 金属サイディング材の塗り替えの際は、ご相談ください。
- ※ フッ素および無機コーティングした窯業サイディングボードへの適用は避けてください。

劣化現象

藻・かび、チョーキング

藻やかびによる汚れが目立つ。
色あせ、チョーキングが起こっている。



▶ ※藻やかびを除去する。

下塗り

1液水性反応硬化形
シリコンエポキシ変性カチオン系壁用シーラー

ニッペ 水性シリコン浸透シーラー



ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。

上塗り

1液水性反応硬化形
セラミック変性シリコン系塗料

ニッペ 水性シリコンセラUV



シーリング汚れ

目地部のシーリング汚染が目立つ。



▶

1液水性反応硬化形
シリコンエポキシ変性カチオン系壁用下塗材

ニッペ 水性シリコンエポサーフ



ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。

1液水性反応硬化形
セラミック変性シリコン系塗料

ニッペ 水性シリコンセラUV



ヘアークラック

ヘアークラックが目立つ。



▶

1液水性反応硬化形
シリコンエポキシ変性カチオン系壁用下塗材

ニッペ 水性シリコンエポサーフ



ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。

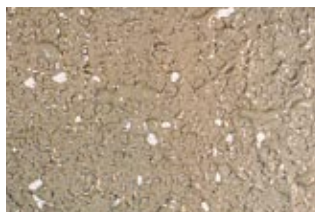
1液水性反応硬化形
セラミック変性シリコン系塗料

ニッペ 水性シリコンセラUV



割れ

割れが目立つ。



▶ ※割れの補修をする。

1液水性反応硬化形
シリコンエポキシ変性カチオン系壁用下塗材

ニッペ 水性シリコンエポサーフ



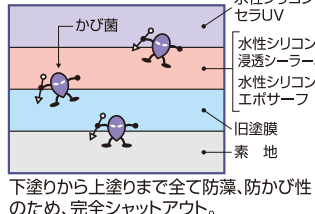
ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。

1液水性反応硬化形
セラミック変性シリコン系塗料

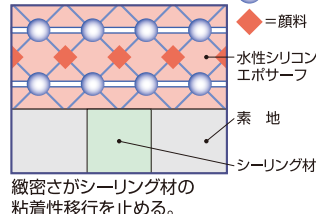
ニッペ 水性シリコンセラUV



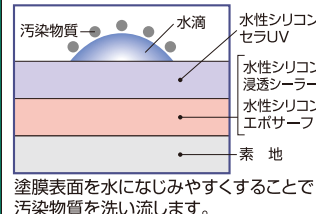
防藻、防かび力



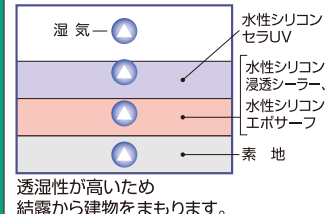
マイクロガード機構



親水性



透湿



標準塗装仕様							
工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	活膜は残すが、劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し清掃する。釘頭がさびている場合は、サンドペーパー、研磨布などを用いてさびを除去し、さび止めとして、1液ハイポナフインデグロをはけなどで拾い塗りする。						
下塗り 劣化状況によりいずれかを選択してください	ニッペ水性シリコン浸透シーラー	1	0.12～0.20	3時間以上	無希釈	——	はけ・ワールローラーエアレススプレー
	ニッペパーフェクトサーフ	1	0.20～0.40	3時間以上	水道水	2～5	はけ・ワールローラー
	ニッペ水性シリコンエポサーフ	1	0.20～0.40	4時間以上	水道水	0～5	はけ・ワールローラー
			0.40～0.80			5～10	エアレススプレー
上塗り	ニッペ水性シリコンセラUV各種	2	0.14～0.16	3時間以上	水道水	5～10	はけ・ワールローラーエアレススプレー
							砂骨ローラー

※上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）。旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
※カタログに掲載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- ・蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した[高断熱型外壁]で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また[高断熱型外壁]に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なること、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ・つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をするとか来のつやが現れないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態で使用ください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- ・つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。
- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および珪面処理をしてから塗装してください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れされない場合があります。
- ・著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートをおープコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ・塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の悪い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取して除去してください。
- ・色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ・スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・動物のけは、はけが固まったりタタにりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・シーリングの上には、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製HI500シリーズ・コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- ・表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションバフの使用は避けてください。）
- ・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ・素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗材としてニッペ浸透シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものと、塗り重ねる適否を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすること、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに汚れたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・濃彩色や汚れた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用の場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- ・塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- ・汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ・使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・開缶後は皮張りしがしやういた、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができま。
- ・大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- ・ニッペ水性シリコン浸透シーラー、ニッペ水性シリコンエポサーフは、他の水性塗料と混合するとゲル化することがありますので避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- ・ニッペパーフェクトサーフは規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。

安全衛生上の注意事項

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- ・汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- ・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
- ・適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合は洗濯してください。

ニッペ水性シリコンセラUV

ホワイト

- ・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- ・施設して子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

警告

危険有害性情報

強い眼刺激